

ご造営ニュース

宇都宮神社
うつのみやじんじや

宮司 鈴木 薫

鎮座地

佐世保市荻坂町(宮地区)

御祭神

豊城入彦命(第十代崇神天皇第二王子)

宇都宮大明神(宇都宮弥三郎通綱)



由緒は、南北朝の元弘二年に第九十六代後醍醐天皇第二王子尊良親王を守護して此の地に下向した宇都宮弥三郎通綱に始まり、その子通景が朝廷の命を受け、応安三年初代宮村地頭となり、下総国宇都宮の祖神豊城入彦命と宇都宮弥三郎通綱をお祀りしたのが起りである。明治七年宮村の守護神として村社に列される。

およそ七百年前に御鎮座以来、宮地区の安寧と住民の安泰幸福を祈り繋いでおり、その間先人たちの真心により幾度かの御造営修繕がなされてきた。当初、社殿雨漏りの為の瓦葺替え工事が計画され神社総代会より宮地区連合町内会に相談したが、「瓦葺替え工事ではなく、神社自体の傾きが酷いので下からやり直そうー我々の世代で再建しよう」とのお言葉を頂き、今回の社殿建替えの方向となった。

平成二十三年十二月に宮司を始め神社総代・各町内会長また夫々の諸先輩の方々を中心に建設委員会が設立され、平成二十六年二月末に旧社殿解体奉告祭・仮殿遷座祭を執行、二月下旬起工式、四月初旬に上棟式を終え、七月十六日本殿遷座祭を斎行した。

伊勢神宮と同じ仮殿遷座祭・本殿遷座祭を斎行し、氏子に御参加・御拝礼頂いた事は、氏子と神社との絆を固く結ぶ結果となり、さらに地域内の絆をより一層に深めることにつながった。

事業期間…平成二十三年十二月～二十九年三月(予定)

総事業費…約五千万円